



## 報道発表

2018年5月31日

### コラジェン・ファーマ (株) への投資実行について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社 (以下「京都 iCAP」) (本社:京都市左京区、代表取締役:室田 浩司) を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合 (以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」) は、京都大学と共同研究を行うコラジェン・ファーマ株式会社 (以下、コラジェン・ファーマ) (本社:京都市西京区、代表取締役:能勢 博) に対する投資を実行いたしました。

#### ○コラジェン・ファーマへの投資実行について

コラジェン・ファーマは、人工コラーゲン様ポリペプチドを用いた研究用試薬の製造販売、医療機器の研究開発を行うベンチャー企業です。

コラジェン・ファーマは、これまで形成が困難であった、生体内に存在するコラーゲンと同様の三重らせん構造を有する人工コラーゲン様ポリペプチドを、生体由来材料を用いず化学合成することに成功しました。さらに、この人工コラーゲン様ポリペプチドは、新たな生理活性を付与したり、形状や物性・生分解性を制御したりすることが可能であり、医療用バイオマテリアルとして高いポテンシャルを有しています。

今回、コラジェン・ファーマは、本新規材料を用いて、硝子体が網膜をひっぱり網膜の中心に孔があくことで視力が低下したり物が歪んで見えたりする疾患である黄斑円孔を適応症とする医療機器の研究開発に、日本医療研究開発機構 (AMED) の支援のもと、京都府立医科大学、早稲田大学、及び京都大学とともに取り組みます。京都大学とは薬学研究科実践臨床薬学分野・山下富義教授と、開発物質の体内動態と安全性評価にかかる共同研究を実施します。

京都 iCAP は、コラジェン・ファーマが独自開発した人工コラーゲン様ポリペプチドの高いポテンシャルと、それを医療用バイオマテリアルとして活用する最初の取り組みとなる黄斑円孔を適応症とした医療機器開発の可能性を評価し、コラジェン・ファーマが実施する総額 4,725 万円の第三者割当増資に中信ベンチャーキャピタル株式会社、日水製薬株式会社とともに応じ、3,150 万円の投資を実行しました。

#### ○コラジェン・ファーマ株式会社の概要

設立	2011年4月14日
事業内容	人工コラーゲン様ポリペプチドを活用した研究用試薬の製造販売と医療用バイオマテリアルの研究開発
本社所在地	京都市西京区御陵大原 1-39 京大桂ベンチャープラザ南館 2104
代表取締役	能勢 博



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都iCAP）について

京都iCAPは、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014年12月に国立大学法人京都大学の100%出資子会社として設立されました。当社は、2016年1月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする出資約束金額160億円、存続期間15年のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間15年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1  
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階  
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者  
河野修己

TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592

E-mail : [info@kyoto-unicap.co.jp](mailto:info@kyoto-unicap.co.jp)